

# 令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: エネルギー環境課  
 担当名: 創エネルギー推進担当  
 内線: 3024 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B12	次世代自動車普及推進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	次世代自動車普及促進事業費	
事業期間	平成27年度～	根拠法令	地球温暖化対策の推進に関する法律 地球温暖化対策推進条例		宣言項目	10 新たなエネルギー社会の構築			
					分野施策	051142 環境に優しい社会づくり			
1 事業概要			5 事業説明						
運輸部門からのCO2排出量削減を実現するために、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）及び燃料電池自動車（FCV）といった電動車の普及を推進する。  (1) 次世代自動車維持管理費 △59千円 (2) FCV普及啓発 △5千円 (3) FCV導入促進費 △30,001千円 (4) 燃料電池バス導入費 △40,046千円			(1) 事業内容 ア 次世代自動車維持管理費 公用車として導入したEV及びFCVの維持管理 2,672千円→2,613千円 イ FCV普及啓発 FCV試乗会・展示会の開催及び貸出 2,742千円→2,737千円 ウ FCV導入促進費 FCVを購入する個人・法人への補助 60,027千円→30,026千円 エ 燃料電池バス導入費 県内営業路線への導入に対する補助 120,535千円→80,489千円  (2) 事業計画 平成27年度 公用車としてFCV2台を導入、県庁SHSの整備、FCV導入補助制度の創設 平成28年度 県庁SHSの維持管理(8年間)、商用水素ステーション補助制度の創設 平成29年度 燃料電池バスや燃料電池トラックの導入に向けた取組 平成30年度 商用水素ステーションの整備推進 令和元年度 燃料電池バスの県内導入 令和元年度～ FCV試乗会・展示会等による普及啓発  (3) 事業効果 ア 県内全域に燃料電池自動車の普及を積極的に進めることによるCO2排出量の削減・環境負荷の低減 イ FCV・燃料電池バスによる水素エネルギーの利活用の周知  (4) 補正予算の概要 ア 補助申請が見込みを下回ったこと等による減額 △70,000千円 イ 執行方法の見直しに伴う需用費等の減額 △111千円						
2 事業主体及び負担区分									
(1) (2) (県10/10) (3) (4) (県1/3) (国1/2) 事業者1/6等									
3 地方財政措置の状況									
普通交付税(包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費 (細節) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額			財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△70,111						△70,111	115,865	
現計額	185,976						185,976		